

# 大山池ふれあい広場

## (木の実の里)

こ み さと

### 木の実の里・イメージ

「木の実の里」は、<sup>むか</sup>丘と森そして森の中の<sup>いく</sup>幾つかの<sup>こうせい</sup>広場から構成されます。

それぞれの森や広場には、様々な遊びや<sup>みりょく</sup>魅力が<sup>かく</sup>隠されています。

大山、<sup>ひるぜん</sup>蒜山の雄大な姿を背景とした<sup>けいけい</sup>景観づくり



木の実の里として「実のなる木」「食べられる実」等による森づくり、丘づくりを行いました。

#### ごちそうの森

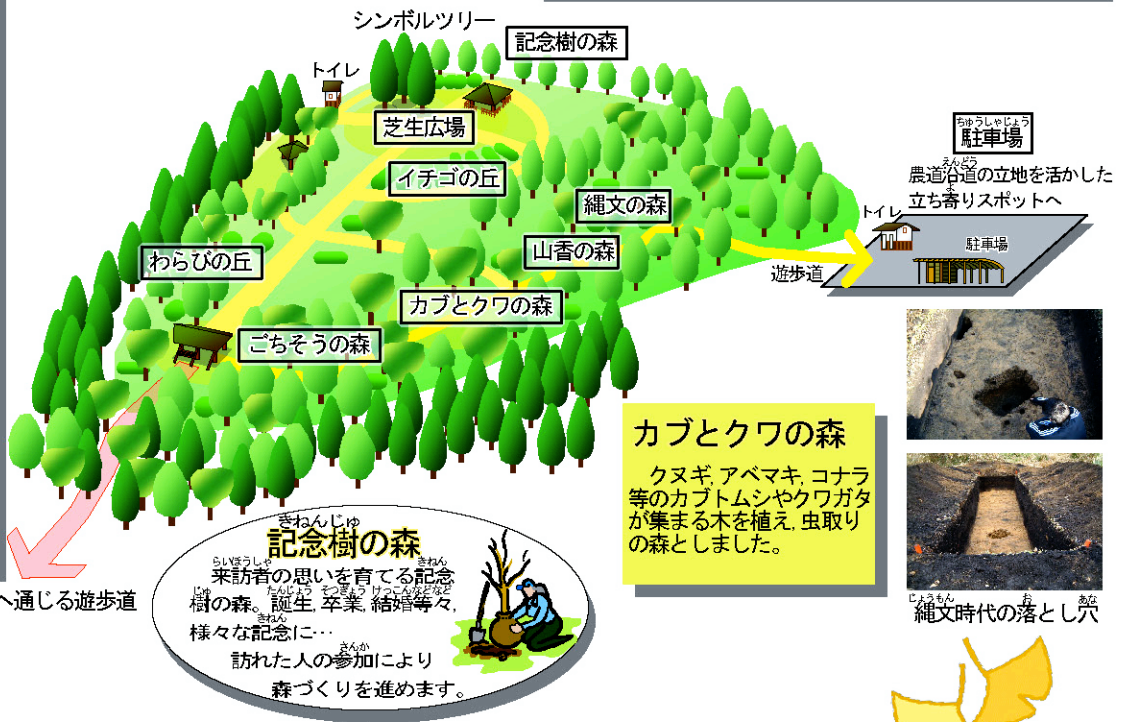
森のあちこちにシイノキ、クリ、トチノキ、ヤマモモ等食べられる木の実のなる木を植えました。

#### イチゴの丘

野原のあちこちにイチゴ、アキグミ等の低木の木の実のなる木を植えました。

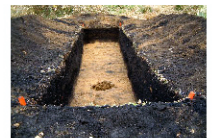
#### やまが山香の森

エゴノキ、ホオノキ、クスノキなど、香りのある木を植え、香りを楽しむ森としました。



#### カブとクワの森

クヌギ、アベマキ、コナラ等のカブトムシやクワガタが集まる木を植え、虫取りの森としました。



縄文時代の落とし穴

#### 記念樹の森

来訪者の思いを育てる記念樹の森。誕生、卒業、結婚等々、様々な記念に... 訪れた人の参加により、森づくりを進めます。

大山池へ通じる遊歩道

関金エリアでは田園空間整備事業の一環として「木の実の里」の整備を行いました。

「木の実の里」は、大山池の上流の約5ヘクタールの広々とした敷地に、昔ながらの里山を整備したもので、蒜山や大山を見晴らすことができる小高い丘に、実のなる木を中心とした“ごちそうの森”や、昆虫が集まる樹木を中心とした“カブとクワの森”、子どもたちが遊べる“芝生広場”などを整備し、大人から子どもまで誰もが楽しめる憩いの施設です。

「木の実の里」周辺は、縄文時代の「落とし穴」や古墳時代の「住居跡」などの埋蔵文化財が出土しており、古くから人の生活があったところです。

この「木の実の里」は、市内のみならず市外からの交流の場として、皆さんが愛着をもって利用していただける施設となるよう、願っています。

田園空間博物館  
ふるさと  
夢の里

